

第3回定例会

# 新年度予算を可決

一般会計を含む8会計の新年度予算について、平成26年度予算審査特別委員会(口田邦男委員長)を設置して審査を行い、採決の結果、原案どおり可決しました。

一般会計、6特別会計、企業会計を合わせて総額110億4430万円、前年比12・1%増となる新年度予算案は3月11日に提案され、同日、議長を除く11人の議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、17・18・19日に審査を行いました。

新年度予算の主な増額要因は清水消防庁舎建替事業に対する消防負担金で5億9250万円、町営住宅建替事業による清和団地建物購入費等で2億5099万円、農山漁村活性化プロジェクト支援交付金で1億7298万円等となっております。

## 平成26年度主な新規事業

- ◇防災情報配信システム事業 (64万円)
- ◇いきいきふるさとづくり寄附報償事業 (20万円)
- ◇子ども子育て支援システム整備事業 (427万円)
- ◇しみず赤ちゃん絵本購入事業 (18万円)
- ◇御影保育所トイレ等改修 (1,181万円)
- ◇未立木地購入事業 (50万円)
- ◇農業施設整備奨励事業 (300万円)
- ◇畑地かんがい用水確保事業 (398万円)
- ◇桜ヶ丘工業団地中央道路排水路改修事業 (1,186万円)
- ◇清水中学校大規模改修事業 (1,230万円)
- ◇小学校低学年英語活動事業 (402万円)
- ◇文化センター耐震診断事業 (568万円)
- ◇御影公民館舞台改修事業 (373万円)

## 平成26年度 補正予算

**一般会計** 1,177万円 増  
(1回目の補正) 総額 76億177万円

- 一般会計の主な補正(歳出)
- ◇社会体育施設指定管理委託料 3,920万円の増額

一般会計では、主に子育て・教育施策の充実、さらに福祉・医療施策や産業基盤の維持発展を図るために必要な事務事業が当初予算として計上されました。その中には、消費税率引上げに伴う負担軽減措置として給付される臨時福祉給付金(4550万円)や子育て世帯臨時特例給付金(986万円)も含まれています。

また、記念事業として、御影地域づくり推進協議会創立40周年記念助成事業(26万円)、清水消費者協会20周年助成事業(22万円)も予算計上されました。

## 平成26年度一般会計予算に対する 討論



### 原案に賛成

#### ●角川徳寿 議員

依然、厳しい財政状況の中、数多くの新規事業が組まれている。この中には消防庁舎建て替え、清水中学校大規模改修など、緊急を要する大型の事業が含まれている。

#### ●山岸政彦 議員

増額の主な要因として、消防庁舎建替事業、清和団地の建て替え、農山漁村活性化プロジェクトが挙げられる。

#### ●原 紀夫 議員

消防庁舎、町営住宅の建て替えなどの大型予算を除き、全体で5%増というところで努力して予算を組んだことは評価できる。

交流人口拡大支援事業は事業成功に向け、また、消費税増税に対しては、負担の軽減、商工業者への支援など、限られた予算の中で最大の効果を上げられるよう努力を願い、原案に賛成する。

町長の基本姿勢である、町民を主役とするまちづくりを強く意識した予算編成であると考える。

事務事業の見直し、公共施設の改修計画、よりよい職員体制の構築、保育時間の延長に伴う弊害、スポーツツーリズムについては町民が納得のいく形でしっかりと考えていただくことを願い、原案に賛成する。

#### ●奥秋康子 議員

消防庁舎建替事業、小学校低学年英語活動事業、緊急雇用促進事業に期待する。

#### ●西山輝和 議員

しかし、スポーツツーリズム協会への補助については納得していない。また、清水赤十字病院への運営資金貸付に関しては、健全経営に向けて検証、改善を望む。

子育て支援策は、延長保育利用時の食事のあり方に配慮を求め、清水赤十字病院への運用資金貸付、スポーツツーリズム協会への補助については検証、検討を求める。厳しい財政状況であっても将来にわたって持続可能なまちづくりを望み、原案に賛成する。

長期的な観点の中で健全な財政運営を強く期待し、原案に賛成する。

